

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果(公)

討議年月日: 令和 3 年 11 月 18 日

公表: 令和 4 年 1 月 12 日

事業所名 ともとのプール

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	5	1	活動内容によって場所を変えている	
	2	職員の配置数は適切である	5	1	職員配置が足りない時はヘルプを要請	
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている	5	1	段差がある場所は、フロアマットを敷いて滑らないように対応	段差などバリアフリー化が出来ていない箇所あり。スロープや手すりを設置検討する。
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	6		施設会議や日々のミーティングにて情報共有	
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	6		アンケート結果を会議などで共有する	
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している	6		ホームページにて開示している	
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	6		社労士の方にも全体の会議に入ってもらっている	
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	6		定期的に研修を行い、職員のスキル向上に努める	
適切な支援の提供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	6		モニタリングの時期には訪問や電話で保護者様と情報共有を行い計画を考える	
	10	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	6		誰でも支援が行えるようにツールとプログラムを個々に準備している	
	11	活動プログラムの立案をチームで行っている	6		施設会議や日々のミーティングで話し合う	
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	6		半年に一度プログラムの見直しを行う	
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している	6		前日のミーティングや前月の会議で行うことを話し合う	
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成している	6		個別と集団を行う場所も変えている	
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	6		毎日ミーティングを行い、活動と支援内容を確認。	
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	6		終業前、全員が揃い次第ミーティングを行っている	
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	5	1	活動記録、経過記録を活用している	
	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	6		半年に一度見直しを行う	
	19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ合わせて支援を行っている	6		保護者とも話しながら活動内容を決めている	

関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	6		相談員の声掛けに応じ担当者会議に参加している	
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っている	6		送迎の際に学校の先生との話を行っている	
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている		6		医療的ケア児に対しての受け入れを行っていない
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている	3	3	相談支援事業所と情報共有	以前通っていたところにも連絡をして、本人の情報を取得できるようにしていく必要がある。
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している	6		相談支援事業所と情報共有	
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	3	3	研修委員会を基に専門機関からの研修を受講	連絡会などで関わりは持っているがなかなか助言をもらうまでのことが出来ていないため、積極的に話していく
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある		6		地域との交流を求められていない保護者様もいるため、交流の仕方を検討していく
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加している	6		連絡会に誰か一人は参加できるようにしている	
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	6		送迎時やLINEなどのツールも活用しながら伝えている	
29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っている	3	3	保護者様が困っている時には支援の理解を伝えている	保護者に対して支援するまでは出来ていない。今後は支援できるように研修を行っていく	
保護者への説明責任等	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	6		契約時に、運営規定・支援内容・利用者負担を丁寧に説明	
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	6		送迎時やLINEなどのツールも活用しながら伝えている	
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	6		年に一度開催するようになっている	コロナの影響で直接集まるのが難しいため、方法を検討する
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	6		話があればその日のうちに話し合いを設け、保護者様へ伝えるようにしている	
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	6		年に4回会報を発行。日々の活動内容やイベント内容を保護者様に発信する	
	35	個人情報に十分注意している	6		外部と共有するときには、氏名に○などを使っている	廃棄書類はシュレッダー対応
	36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	6		絵カードなどのツールを用いて伝えている	
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている		6		地域住民を招待はしていないが、情報はホームページで公開している

非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している	6		マニュアルを作成。施設内に掲示	
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	6		年に2回開催している	
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	6		虐待防止研修や委員会を設置して対応している	
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している	6		個別支援計画に取り入れ、承諾をいただいている。拘束記録を記載。	
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	6		契約時に食物アレルギーについてアンケートを取っている	
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	5	1	書きやすいように現場に用紙を設置している	